

# 座敷童子選考用台本（木隠 桂）

きがくし かつら

## 注意事項

- (一) 選考用のセリフは二頁以降に記載しています。
- (二) 選考用のセリフの間に他の役のセリフがある場合は読んでも構いません。
- (三) セリフを読む際は何ページかのセリフかを言う様にして下さい。
- (四) 非常に読みにくい役が多い為、読み間違えの内容にお願い致します。
- (五) 締め切り後の受付は一切出来ませんのでご了承下さい。
- (六) 録音台本とは異なる場合がございます。ご了承下さい。
- (七) 全体像は原作サイトでご確認下さい。

## 座敷童子

### （選考用セリフ その二）

SE (森の中を歩く音) BG

SE (―足を止める音) IN

透 あ・・・これこれ、たしか、このベンチがじいちゃんとの待ち合わせのはず。

桂 ちよつと遅れたな

透 ……あ、…え？

桂 どうした？透だろう？

透 いかにも・・・下の名前は透・・・ですが・・・

桂 私だ、じいさんだ

透 ……あー…あ？

桂 十年ぶりだな

透 は…

## 座敷童子

## 座敷童子

透 桂 透 桂 透 桂 透 桂 透 桂 透 桂

これこれ、この杉の木まできたらあともう少しだ。  
おじいちゃん・・・・・・・・  
なんだ？  
うーん・・・・・・・・言われてみればじいちゃんに見えなくもないけど・・・・・・・・  
なんだ、まだ何か考えていたのか・・・・・・・・  
何か秘薬でも使ったとか・・・・・・・・  
秘薬か・・・・・・・・まあ、そんな名前の運命っていうところだな  
わっ！  
今度はどうした。  
じいちゃんに心の中読まれた！  
お前全部声に出して言ってたぞ・・・・・・・・  
ったく、人を化け物扱いしやがって。  
はは・・・・・・・・

## 座敷童子

透 桂 S E 透 桂 透 桂 透 桂

(モノログ)しかし、そのとき俺の前に立っていたのは「じいさん」と呼ぶにはほどとおい、背の高い「お兄さん」だった。  
ほう・・・・・・・・さては真樹から何も聞いてないな・・・・・・・・？  
(モノログ)どうみたってこれは二十代後半の顔だよな、まさか人違い・・・・・・・・  
透？突っ立ってないで早く行くぞ。  
へっ！  
事情は後で話す。さっさと付いて来い。  
それとも一人で家まで辿り着ける自信があるか？  
いや、あ、行きます！  
(走る音) I N  
間  
ちゃんと道を憶えながら歩くんだぞ  
はあ。

## 座敷童子

桂 透 桂 透 桂 透 桂 透 桂 透 桂

何を驚いている？  
いや・・・こんな場所だったかなあって・・・  
歩いて家まで来たことはなかっただろう？こんな場所なんだよ。  
そっか・・・  
そうだ、たとえばな、透。  
ん？  
こうしたら信じられるかもしれん。  
(モノローグ) そう言うと同じちゃんは近くに植えてある大木から葉を一枚、  
プツリと手で取った。  
これをな・・・こうするのだった！  
じいちゃんは手に握られた小刀で空中に舞い上がった葉をみじん切りにして  
見せた。  
こんなもんか。

## 座敷童子

透 桂 透 桂 透 桂 透 桂

まあ信じられなくても無理はないさ。今にわかる。そうだなー、証拠に私が生  
きていた時の話をしよう・・・いいか。第二次世界大戦が・・・  
間  
その「じいちゃんが生きていたときの話」は、家に着くまでの数十分、延々と  
続いた。  
その時、犬養毅いぬがいつよしはな、右翼に向かって・・・  
(小声で) 教科書で読んだなア・・・  
この仁徳稜えんとうというのはな、周りに円筒埴輪えんとうがな・・・  
うんうん・・・  
と、うちに着いた。  
えっ！？

## 座敷童子

透 桂 透 桂 透 桂 透 桂 透 桂 透

そんな特技があつたんだ……  
無駄に特技を見せたわけじゃない。私の腕を見よ。

え……？……これは……<sup>うみ</sup>濃、かな。

違う。これは樹液だ。

……液？

この傷は私が先刻葉につけた傷と同様のものだ。

なんでじいちゃんの腕が傷つくんだ……？

そう、今こそ言う時が来たな。透。私は樹だ。この樹は『桂』という。

かつら……

実は昨年、人間としての役目は終えたのだよ。

……

### (選考用セリフ その二)

あんず  
桂  
あんず  
桂  
あんず  
透  
あんず  
透  
あんず  
透  
あんず

ふわあ(あくびする)

そこで退屈してるお姫様のことも話さなくちゃいけないな。

んあ……お話終わったの？

そうだよ、あんず

とーるはあたしのこと知りたいの？

え、あ……

じゃあ、話す！

まだ何も言っていないのに！

だから寝ちゃダメだぞ？

いくらなんでも寝やしないよ……

嘘だあ！桂じい話が話してるときからずっと眠そう！

## 座敷童子

## 座敷童子

桂 ほうう・・・そうだったのか透・・・  
透 い、いや、違ッ、ちゃんと聞いてたよ！  
桂 そうか？  
透 うんうんっ  
あんず じゃあしつもん！とーるは人間ですか？  
透 あんずちゃん、ケンカ売ってる？  
あんず ちゃん付けで呼ぶな、気持ち悪い。  
SE (心に突き刺さる音) IN  
透 ひどっ  
あんず、でいいよ。さっ、質問に答えて！  
透 一応人間だと思っけど  
あんず なにー、なんか自信なさそうだなあ。  
透 誰のせいだろう。

## 座敷童子

SE (飲み物の入ったコップを持ち上げる音) IN  
桂 私のせいではないぞ。  
あんず あんずは妖怪です！  
透 (お茶を吹き出す) ぶっ  
透 良くないな・・・そういう冗談・・・全国の妖怪に悪いよ。  
あんず 妖怪だっつってんじゃん！  
桂 岩手県を中心とする東北地方で、旧家の奥座敷などに棲む妖怪。  
透 赤ら顔で、おかつば頭の子供の姿という。その家の運勢に関係を持つといわれ  
透 る・・・  
透 はっ・・・座敷童子——？  
透 妖怪なんていないと思ったでしょ。とーる。  
透 い、いや・・・  
透 オカルト部に・・・入ってたから・・・

## 座敷童子

あんず  
え・・・？  
とーる、辞めたの？なんで？  
勉強が大事だから。  
あんず  
べんきよう？あんずより勉強が大事？  
へ！？  
あんず、とーるに知ってもらえなくなる？  
え、あ？いや・・・  
とーるはあんずが嫌いなんだね・・・  
え！？え！？  
罪なやつだねえ。  
桂  
じいちゃんまで・・・  
透  
・・・  
あんず  
ち、違う、違うよ。

## 座敷童子

あんず  
え？とーる、オカルト部ってなに？  
透  
妖怪や幽霊やUFOの存在を信じて研究する部活のこと・・・かな。  
あんず  
なんだ！とーる、あんずのこと知ってたんだね！  
透  
え  
あんず  
ねーねー、今も入ってる？カオトル部  
透  
お、オカルトね。今は・・・  
桂  
真樹からいろいろ聞いているが、部長やってたな。確か。  
あんず  
ぶちよ？ぶちよって何？  
桂  
部長って言うのは、その仲間たちの中で一番偉い人のことさ。  
透  
ホントー！！とーる、ぶちよーなの！スッゴイんだね！  
（大声で叫ぶ）ふ、二人とも人の話を聞け！  
桂  
なんだ、透。  
透  
俺はもうオカルト部には入ってない。辞めた。

## 座敷童子

あんず  
透  
桂  
透  
あんず  
透  
あんず  
透  
あんず

らじやーっ！  
あ、あの  
ん？  
荷物とかどこにおいたらいい？  
ああ、お前の部屋は二階の奥の部屋の押入れから行ける。  
お、押入れ！？えっと・・・  
どうしたとーるっ  
あ・・・いや。押入ってどこかな？  
案内してあげるっ  
あ、ありがとう。

## 座敷童子

あんず  
透  
あんず  
透  
あんず  
透  
桂  
透  
あんず  
桂  
あんず

・・・何が？  
あー・・・辞めてない、やめてない！そう！やめてなかったんだ！  
あっはははは。  
ホント！？とーる、まだぶちよー？  
え、あ、うん、うん、そう・・・  
なんだー！あんず、ビックリしたよ！！  
は、はははは。  
(モノローグ) うそも方便、仕方ない・・・  
間  
さあて、そろそろ夕飯の支度だな。一度お開きにしよう。  
ふう・・・  
お手伝いするーっ  
あんずはアイツを起こして来い。